

「ただいま」

ジュアン ロムアルドウス神父

皆さん、お久しぶりです。お元気で過ごしていらっしゃいますか？帰国休暇のため、3ヶ月以上岸和田教会に不在ということで、互いに顔を見合わせることはできませんでした。御存じの通り、2021年6月6日に岸和田教会を出て、母国のインドネシアへ出発しました。今回、久しぶりの気持ちとして、帰国休暇に関して、また休暇中の経験を皆さんに報告しながら、分かち合いたと思います。

まず、新型コロナウイルス感染拡大という厳しい状況の中で旅するのは、私にとってあまり自信がありませんでした。しかし、インドネシアにいる母親と家族に5年間全く合わなかったからこそ、コロナにもかかわらず、一度顔を見せたいと考えて、ザベリオ会の管区長様と相談した上で、我が故郷に帰らせていただきました。

次に、インドネシアへ出発する前に、PCR検査を受けました。そして、インドネシアに着いて、政府に決められたホテルで6日間の待機をしなければいけません。しかも、待機中に2回ものPCR検査を受け、幸いに検査結果は陰性だったので、地元のフロレス島へ出発することができました。またフロレス島に着いて、5日間待機した後、やっと家族に出会った。あまりにも疲れたと思いましたが、家族との再会が出来、とても幸せでした。

また、日本と同じように、新型コロナウイルスが広がるリスクを減らすために、地元の教会はしばらく閉鎖されました。しかし、私が着いた頃、ちょうど教会のミサが再開されたので、地元の教会の主任司祭の依頼で、日曜日のミサを手伝ったり、老人や病人訪問をしました。そのお陰で、久しぶりに地元の教会の信者や親戚、友人や知人の皆さんと再会することができたのでとても嬉しく思いました。残念ながら7月の末ごろから、インドネシアには変異ウイルス「デルタ株」が起きたので、またミサや祈りの集いなどをすべて中止することになってしまいました。

そして、休みを終えて、日本に帰ろうとした時、ご存じの通り変異ウイルス「デルタ株」発生のために、政府より緊急事態宣言が出されました。しかも、一週間、国内の海上、陸路、航空輸送は一時的に停止され、ジャカルタへ行く予定でしたが、行けなくなりました。一週間後、国内便が再開されたので、PCR検査を受け、ジャカルタへ出発しました。着いた途端、私はジャカルタのザベリオ会で10日間の待機を余儀なくされました。待機した後、二回目のワクチンを受け、そのため日本へ帰る日を延長しなければなりません。

日本へ帰るためにあらためてPCR検査を受け、9月29日に日本へ出発しました。しかし、関西国際空港に着いて、空港でのPCR検査後、また14日間の待機が必要だったので、最初の3日間は政府に決められたホテルで滞在し、その間にも、検査を受けなければいけません。おかげ様で、すべての検査結果は陰性でした。そして、10月2日に、ザベリオ会モイヨリ神父様が日航ホテルまで迎えに来て、ザベリオ会に戻った後、11日間の自己待機が待っていました。幸いに10月13日に隔離期間が終わり、戻って来る事ができました。

今回こんかいいずみブロックで不在ふざいちゆう中に、いろいろお世話せわになった皆様みなさまに感謝かんしゃしたいと思います。まず、村田むらた神父様しんぶさま、ザベリオ会かいの神父様方しんぶさまがた、そして、信徒しんと会長かいちょう、役員やくいんの皆様みなさま、各委員会かくいんかいの皆様みなさま、そして、信徒しんとの皆様みなさま、本当ほんとうにありがとうございました。さらに、不在ふざいのため、いろいろ迷惑めいわくかけてしまったこと、特に、岸和田きしわだ教会きょうかいに戻るもとのが大変遅たいへんおくれてしまったことを、心こころよりお詫わび申し上げます。

最後さいごになります、長い旅ながたび、しかも、休みやすの間に新型あいだコロナウィルス感染しんがた拡大かんせんかくだいという厳しい状況きびじょうきょうの中に巻き込ままきこれても、健康けんこうに変わりが無く、また、無事ぶじ岸和田きしわだ教会きょうかいに戻るもとことができたということは、神様かみさまのお恵みめぐみや皆様みなさまの祈りいののおかげかげおもいます。本当ほんとうに、神かみに感謝かんしゃ、そして、皆さんみなにも感謝かんしゃ致します。さらに、メッセージみないそとしては、皆みなが忙いそしくてゆっくり交わりまじの時間じかんを取れないかもしれませんが、これからもう一度いちど自分の家族ぶんかぞくを大切たいせつにして、お互いたがに支ささえて行きましよう。家族かぞくは、人生じんせいの始まりはじであり、愛あいが終おわらない場所ばしょだからです。ロックダウンさいの際いっしょに一緒かぞくにいと、家族かんけいの関き係ちようがいかにか重あいなるものであるかをより一層いっそう理解かいする機会きかいとなります。コロナは私わたしたちの多忙たぼうな生活せいかつを中斷ちゆうだんさせ、家族かぞくと過すぎ貴重きちような時間じかんを与あたえてくれました。また、私わたしたちに責任せきにん感かんを持たせ、小ちいさなことに感謝かんしゃさせてくれました。そして何なによりも、私わたしたちは個人じんとしてではなく、コミュニティいちいんの一員よとしてこの世よに存在そんざいしていることを思い出おもさせてくれました。しかし、大事だいじなことは神様かみさまの計画けいかくの実現じつげんを願ねがい祈いのること、どんなに厳しい状況きびじょうきょうの中なかでも神かみが共ともにいてくださるといふ信仰しんこうは大切たいせつです。問題もんだいがあるときに神かみへの信仰しんこうによって乗り越こえられるように神かみに祈いのりましよう。どうか、これから私わたしたちの愛あいするいずみブロックのために、心こころと思おもいをつひとつにして、共ともに歩あゆんで参まいりましよう。宜よろしく願ねがい致いたします。